

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第169号

1

17. .30

表紙

・わたしたちのめざす食料基地づくりとは

P2

・私たちの生活からマイクロプラスチックは生まれている

P3

・活動報告 「牛乳を登録して信州へ行く」企画／こめや食品(株)交流会／(有)王隠堂農園 柿狩り
・組合員紹介 ・地場野菜

P4

・大きく育て福祉の樹「子育てひろば」
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

わたしたちのめざす食料基地づくりとは

わたしたちのめざす主産地形成・食料基地づくりとは食の視点だけなのでしょうか。生活クラブ連合会ではFEC自給ネットワーク(F=食、E=エネルギー、C=福祉コミュニティ)の実践をすすめています。その最先端モデルとして山形県の庄内地域では、主産地形成の成果として、エネルギーの取り組みや、これからの暮らし方や働き方(農業への関わりも含めた)など多世代共生の福祉コミュニティ構想が始まっています。

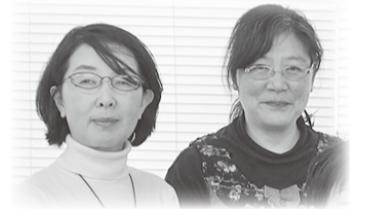
エスコープ大阪は生活クラブ関西6生協の一員として、関西圏の食料基地づくりにチャレンジしています。山形の事例のように食料基地づくりやその他のことで、私たちが生産者と共有すべき課題や夢などについて、「竜王町稲作経営者研究会」(以下、稲作研究会)田村仁一さんと「(株)豆伍心」樽谷修孝さんにお話を伺いました。

(聞き手:消費担当理事 糸川 江里子、齊藤 真由美)



竜王町稲作経営者研究会
会長
田村仁一さん

(株)豆伍心
専務取締役
樽谷修孝さん



糸川さん(左)、齊藤さん

豆伍心の豆腐の原料大豆は4分の3が稲作研究会のものに

糸川 2013年産米の作付けから主産地づくりに取り組んでいます。ですが、生産者として感じていることや見えてきた成果などを教えてください。

田村 初年度は1000俵から始まり将来的には1万俵の生産を目指すことになり、稲作研究会では会員を増やす努力と個々の生産規模の拡大を図ってきました。私たちは関西6生協と取り組む以前から、農業を極力使わない努力をおこなっていて、それは地域全体の防除回数を減らす結果を生み、環境の向上に繋がっていました。平成15年には「竜王町環境こだわり農産物推進協議会」が発足し、「JAグリーン近江」管内でも減農薬有機肥料の生産が増えました。現在、稲作研究会の米収穫量の50%が関西6生協に供給できています。組合員の皆さんの「食べる約束」が私たちの意識を変え、地域全体に影響を与えています。

樽谷 豆伍心は今年創業10周年を迎えました。自分たちにしかない豆腐作りを目指して、同じ

意識を持つ大豆の生産者を探していました。しかし、大豆を購入できて生産者(農家)と直接関係を持つことは難しく門前払いされることもありました。5年前に大阪での生産者交流会で田村さんと出会い、竜王町に大豆生産の協力を求めました。田村さんからは、「全力で生産向上に取り組む」とうれしい返事をいただきました。豆伍心は大豆生産者と組合員を結び役割も担っていますと考えています。そのため

には生産地を訪問(大豆の播種、育成、収穫の確認、農薬等の勉強会の開催)して気持ちを共有すること、組合員に安心・安全でおいしい豆腐や大豆加工品を提供することを第一に考えています。その積み重ねにより、今年度使用した豆伍心の豆腐の大豆含有量の4分の3が竜王産「フクユタカ」になりました。これからもいつそう、密に連携していきたいと考えています。

産業廃棄物となっている「おから」が活用できれば

齊藤 今後の主産地づくりについて、課題や夢などを聞かせてください。

田村 「おから」を肥料として稲作研究会の田んぼに戻して、もう一度大豆を作るという循環を作りたいと考えています。ところが、「おから」は水分を非常に多く含んでおり、すぐに腐敗してしまいうため、毎日取りに行つて処理しないといけない問題があるので、これが解決できれば非常に素晴らしいと思います。さらに、発展させて、生協の他の生産者から出る残渣物も回収できれば

ば、それも合わせて農地に返す事ができると思います。すぐには実現しないかもしれませんが、そういう事ができたら素晴らしいのではと思っています。

樽谷 現在「おから」は産業廃棄物として処分していますが、私たちも乾燥して肥料に使えたらと思っています。現在の工場設備や立地では実施は難しいですが、先々移転する際にはそのようなことも実現できる工場にできればと思っています。その為には利用は不可欠ですが、利用数は年々減っています。生協と一緒に頑張って利用数を増やす努力をして、稲作研究会の皆さんにもっと「フクユタカ」を作ってもらえるようにしていきたいと思っています。

「地域をつくる農業」の視点

田村 昭和30年代後半、農村の青年が労働者として都会に出て行き、農業は少数の老人が担うようになりました。機械化や化学肥料・農薬に頼らざるを得なくなり、自然とかけ離れた農業による単なる食料基地になっていきました。

このままでは農村が崩壊してしまうとの思いで、我々は「竜王町稲作経営者研究会」を発足し、単なる産業として、また食料基地としての農業ではなく、この地域の自然、村の文化を守っていくことと取り組んできた結果、絶滅寸前の昆虫や鳥が戻ってきていますし、祭りや風習などの農村(地域)文化を守ってきました。また、昔は農村と都会の間で野菜を売った代わりに堆肥を持って帰ってきたという循環がありました。今は農村と都会の交流が新しい循環となり今後さらに増えていくことが、日本の農業を守っていく上で非常に重要なことだと思っています。

両生産者の役割に対する真摯な気持ちと活動がよく理解できました。また私たちの「食べる約束」が、生産者のみならず地域に及ぼす影響を実感することができました。これからの物の往来だけでなく、人と人との繋がりを大切に内実のある関係を築いていきたいと思っています。

私たちの取り組みが美味しさにもつながっている



生産者は農と技を極めて、私たちは利用(取り組みへの参加)と共感を広げる



中身は「絹ごし豆腐」と同じよせどうぶを取材の際に試食。「絹ごし豆腐」をざるにあげ、少しレンジで温めてから食べるとよりおいしさがわかります。



何もつけなくても豆の風味と甘みが濃くてとてもおいしい!

私たちの生活から マイクロプラスチックは生まれている

環境中に廃棄されたプラスチックが小片化(5mm以下)して微細なマイクロプラスチックとなり、海洋に存在していることがわかりました。マイクロプラスチックは環境にさまざまな影響を与えており、世界的に問題視されています。この問題をみんなで一緒に考えましょう。

① 年々増加するプラスチックの生産量

加工しやすく便利素材のプラスチックは今や私たちの生活には欠かせません。その量は世界で年間3億トン作られています。その原料となる石油は加工エネルギーとしても大量に使われており、地球温暖化問題としても無視できません。プラスチック製品の半分は容器包装で、使い捨てられて即ごみになります。焼却費用も馬鹿にならず、埋め立て場所にも限りがあります。



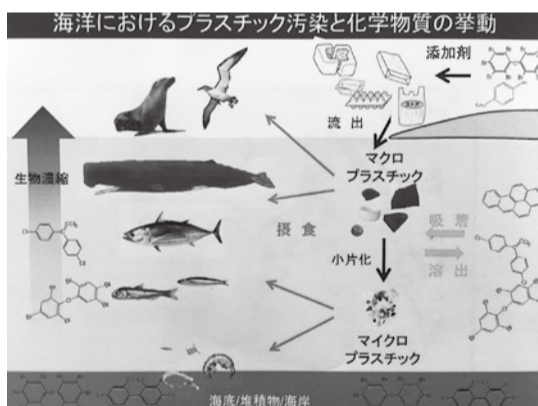
海岸に漂着した大量のごみ。プラスチックごみは浮いて遠くの島にまで運ばれます。

きちんと収集されなかったプラスチックごみが海に流れ出て、紫外線や波力で小片化し、マイクロプラスチックとなっている現状が明らかになってきました。

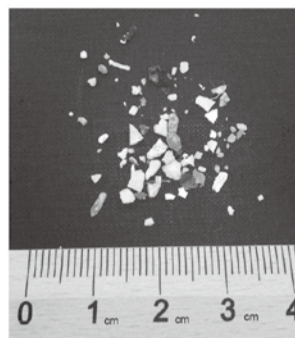
焼却費用も馬鹿にならず、埋め立て場所にも限りがあります。きちんと収集されなかったプラスチックごみが海に流れ出て、紫外線や波力で小片化し、マイクロプラスチックとなっている現状が明らかになってきました。

③ 海洋生物による誤食

海鳥やクジラ、魚、ウミガメ、貝、ゴカイなどがマイクロプラスチックを誤食しています。誤食したプラスチックが便として排出されたとしても、吸着された有害化学物質は体内の脂肪層に蓄積されます。食物連鎖により、大きな個体ほど濃度も高くなり、生態系への影響が懸念されます。



海鳥やクジラ、魚、ウミガメ、貝、ゴカイなどがマイクロプラスチックを誤食しています。誤食したプラスチックが便として排出されたとしても、吸着された有害化学物質は体内の脂肪層に蓄積されます。食物連鎖により、大きな個体ほど濃度も高くなり、生態系への影響が懸念されます。



太平洋上で気象庁が採取したマイクロプラスチック



人口密集地の沿岸にはマイクロプラスチックがたくさん浮遊している (Dr.Marcus Eriksenの講演資料より)

② 海に漂うマイクロプラスチックと有害化学物質

マイクロプラスチックは小片化した後もプラスチックの性質を持ち続けます。石油由来であるための「分解性の悪さ」と「有害化学物質を吸着しやすい」という特性です。プラスチックの添加剤で生殖系に影響を与えられているノニルフェノールやビスフェノールA、現在は使用禁止となっているPCB(ポリ塩化ビフェニルの略称)やDDT(有機塩素系の殺虫剤、農薬)などさまざまな有害化学物質が、海には漂っています。濃度にすればごく少量ですが、海には吹き溜まりのような場所があり、そこに集められ、マイクロプラスチックに吸着されることによってさらに濃縮します。

④ 素材を分解性の良いものに切り替えましょう

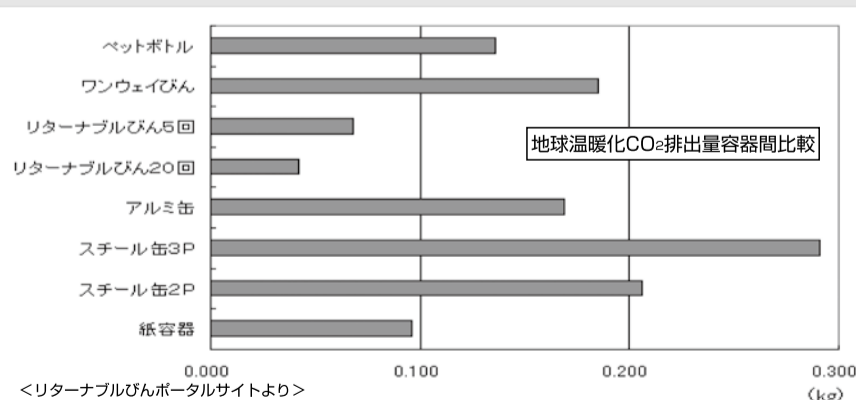
マイクロプラスチックの影響は国連でも問題視されています。欧米では予防原則に則ってプラスチック製品の製造及び使用の規制が始まっています。作って使った以上、リサイクルする方が良いのですが、リサイクルのコストはリサイクルしてできた製品による利益よりも大きいというのが現状です。そもそも始めから使わなければ、環境へ出ることもありません。特にレジ袋、ペットボトル飲料など、使い捨てとなる容器や包装の使用を極力避けるだけでもプラスチックごみを減らすことができます。そして素材を分解性の良いもの「紙、ガラスびん、缶やバイオマス由来のプラスチック」などへ切り替えましょう。

生活クラブの取り組み

生活クラブでは、調味料や飲料などの消費材の容器にガラス製のRびんを採用しています。これはサステナブル(持続可能)な環境づくりとして、ごみ減量のために、リサイクル容器(使い捨て)からリユース容器(回収して再使用可能)に切り換える取り組みで、「グリーンシステム」(地球生態系のためのごみ減量システムGarbage Reduction for Ecology and Earth's Necessityの略)と呼んでいます。

リサイクルよりもリユースの方がコストもCO₂排出量も削減できます。何度も繰り返し使うために、Rびんは洗ってから必ず返却してください。

Rびん(リユースびん)は他容器よりも優れている



<リターナブルびんポータルサイトより>

すすんで
使おう!

必ず
返そう!!



2017年現在、Rびんは牛乳びんを含め7種類(びんの写真は一例)



グリーンシステムの詳細については
こちらを参照してください

<http://www.seikatsuclub.coop/eco/green.html>

消費委員会
「牛乳を登録して信州へ行こう」企画
 新生酪農(株)・(株)おびなた訪問
 2016年
 11月5日(土)・6日(日)
 長野県

消費委員(店舗地域委員)
 谷口 景子

『パスチャライズド牛乳』生産者の「新生酪農」と『戸隠そば』などの生産者「おびなた」を組合員21名で訪問し、交流しました。



おびなたは長野市妙高戸隠連山国立公園の真ん中にあり、抜群のロケーションです。そばの実は三角で胚芽が真ん中にあり、生命力が強く、昔から修験者が食したそうです。「戸隠流そば打ち体験」では、コクのある香ばしい香りが鼻をくすぐりました。打ちたてのそばをその場で湯がいてもらって食べると、格別においしかったです。そばの実を挽く48台の石臼や、出来上がったそばを1時間かけて低温でゆつくり乾かす機械など、製造ラインを見学しながらおいしいそばを作るこだわりには感心しました。そば粉を使ったスイーツも研究中だそうです、ぜひ実現してほしいです。

生産者との交流を深め、私たちの消費材への愛着がより湧きました！

おびなたは長野市妙高戸隠連山国立公園の真ん中にあり、抜群のロケーションです。そばの実は三角で胚芽が真ん中にあり、生命力が強く、昔から修験者が食したそうです。「戸隠流そば打ち体験」では、コクのある香ばしい香りが鼻をくすぐりました。打ちたてのそばをその場で湯がいてもらって食べると、格別においしかったです。そばの実を挽く48台の石臼や、出来上がったそばを1時間かけて低温でゆつくり乾かす機械など、製造ラインを見学しながらおいしいそばを作るこだわりには感心しました。そば粉を使ったスイーツも研究中だそうです、ぜひ実現してほしいです。

2日目は安曇野市の新生酪農の工場と、原乳生産者の柳沢聡さんの牧場

柳沢さんの牧場では30頭の乳牛の世話を、朝夕休みなく3人でされています。良質で安全な原乳は、柳沢さんのような提携酪農家の誠実な努力の積み重ねによって作られているのだと改めて感じました。柳沢さんは「見に来てもらうと責任あるなあと感じる」とおっしゃっていました。私たちが快く受け入れて下さった生産者の皆さんに感謝します。

店舗地域
農業生産法人 王隠堂農園 柿狩り

2016年11月19日(土)
 奈良県五條市

店舗地域委員 谷口 景子

王隠堂さんに柿狩りに行ってきました



雨がパラつく秋の日、組合員7名を含む総勢10名で西吉野の「王隠堂農園」(以下、王隠堂)に出発！一時間半ほど車に揺られて、まず選果センター

和紙が水分で濡れるだけでした。その後、築150年の古民家レス

その後、築150年の古民家レス

堺市街地地域委員会
こめや食品(株) 交流会
 2016年11月15日(火)
 堺市立健康福祉プラザ(堺市堺区)

堺市街地地域パートナー
 奥田 聡美



「こめや食品」常務取締役川崎光一朗さんに静岡県の由比よりお越しいただきました。初めに、こめや食品と生活クラブが歩んできた歴史、一般的に流通しているかまぼこに含まれている添加物・保存料・着色料について、そしてこめや食品ではどのように練り物が作られているのかを、動画も使ってお話いただきました。

貴重な無リンすり身を使った練り物は食べ応えあり！

無リンすり身はとても貴重で、一般的な市販のかまぼこ、ちくわなどの練り製品は添加物のかたまりとも聞きます。それはあまり新鮮でない安価な原料を使用し、味はアミノ酸などでごまかし、弾力はリン酸塩などで補い、さらに大豆たんぱくなどでかさ増したのも。消費者がとにかく安いものを求めた結果、メーカーは質を落として作るようになり、市場では安価な練り物があふれています。

生活クラブの練り物はすべて無リンすり身を使用しています。川崎さんが生活クラブと共に作り上げた消費材は、手間と愛情を込めて作られ、そして今自信を持って届けられていることがわかりました。持つてきてくださった無リンすり身を使い、さつま揚げを作りました。出来上がったさつま揚げは、ふんわり香りも良く、みんなでおいしくいただきました。

伊達巻のおいしき、飾り切りの実演、レシピ紹介、かまぼこの栄養の話など、食べて学んで笑える一日となりました。もつともつと食卓に上げたい食材になりました。生活クラブの練り製品をどんどん利用しましょう！

最後にたわわに実った柿畑で、みんなが柿狩りを楽しめてとても有意義な一日になりました。王隠堂の消費材を食べることで、王隠堂さんの大きな夢の実現に向けて応援できることがとてもうれしく感じることや、安全で確かなものをこれからも食べ続けていきたいと思いが強く帰途に着きました。

トランで昼食。「王隠堂」の姓は昔々、南北朝時代に吉野に逃げてきた後醍醐天皇をかくまったことから賜ったそうです。野菜中心のお料理も格別おいしかったです。「地域再生を眺み、自然と環境を守りたい、食の安全と安心を育みたい」と語られた息子さんの正悟哉さんの姿勢に感動しました。

最後はたわわに実った柿畑で、みんなが柿狩りを楽しめてとても有意義な一日になりました。王隠堂の消費材を食べることで、王隠堂さんの大きな夢の実現に向けて応援できることがとてもうれしく感じることや、安全で確かなものをこれからも食べ続けていきたいと思いが強く帰途に着きました。

紹介します!!
 うちの地域の組合員さんです

姉妹で地域パートナーに仲間入りした水野千秋さん、宮本美由希さんをご紹介します

[大阪市南・中河内地域準備会]



お子さんの育児中で、地域の企画に参加した際は、毎回手作りの子ども服や小物を紹介してくれます。

「一番のお気に入りにはれんこんです。栄養価の高い節付きで届くのが、とても気に入っています。離乳食には『豆伍心』の豆乳にだしと塩を入れた豆乳スープをよく作ります。濃厚でとろみもあり、子どもも大好きです」とおすすめ消費材と、離乳食の作り方を紹介してくれました。

おふたりのような2代目組合員さんも増えてきています。泉北生協時代から組合員が育んできた思いを受け継ぎ私も子どもたちへつないでいきたいと思っています。

「私たちは母が組合員ということで、幼い時からエスコープの消費材で育ちました」と初めての企画参加時に語ってくれた妹の宮本さんは出産を機に、姉の水野さんは結婚を機にエスコープ大阪へ加入。昨年からは親子3世帯で班を組まれていきます。「やはり幼い頃から母が利用し、慣れ親しんでいた消費材は、安心して食べることができ、私にはアトピー体質ですが、季節の変わり目などでもアトピーが出ないのはきつと母が食事の気を付けてくれたおかげです」と宮本さん。現在は1歳の

山田 智巨(準備会担当常務理事)

チャレンジ野菜の白ねぎをお届けしました

私たちの『旬菜セット』はね...

出荷直前の11月25日(金)に、大谷さんを訪ねました。白ねぎは気温が下がるこの時期においしくなりますが、ここにごきて少し気温が上がったことを心配しておられました。元々、畑にあるものを分け合って食べるのだし、初回の供給は目合わせするので細いものも入っていた方がいいと伝えらる、この細さじゃアカンわ」「これぐらいの量がないと」。生産者としての誇りと、組合員に良いものを届けたという思いが強い大谷さんです。

48週に『旬菜ファミリセット』の全コース287セットと、49週に『旬菜ミニセット』の1コース212セットの合計499セットを入れてお届けしました。生育が悪かったり病害虫によって予想より収穫数が少なくまりました。またそのことで株間が広がり大きく育ち、最後のお届けでは2本でも結構ボリュームのあるセットもあつたようです。利用者アンケートの集約中ですが、高評価なようです。また報告させていただきます。



昨年6月より、 泉州地域(岬町)で2ヵ所目の 「子育てひろば」が始まりました♪



手描きの「ウエルカムボード」

10月5日(水)、3回目の子育てひろばを開催しました。今回は、5組の親子が参加。毎回来てくださる方も多くなり、子どもたちも場所やお友だちにも慣れ、和やかな雰囲気時間が過ぎました。

今回は地域ニュースを見て、初めて泉佐野市から参加した組合員さんがいました。周りに食の安全について話す場があまりないので、エスコープ大阪の集まりなら安心して話せるかな、というこ

とでした。遺伝子組み換えのことや食品添加物、家庭菜園の話など、まとまりなかったかもしれませんが、いろんな話がありました。

「子育てひろば」ではエスコープ大阪自慢のお菓子とお茶を用意して、子育てのちょっぴり先輩、とっても先輩など、いろいろなスタッフが待っています！お気軽にお越しください。

泉州地域子育てサポーター 野崎 信子

「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみについて紹介していきます。今回は「子育てひろば」についてお伝えします。



地域の中で安心して 子育てができるように

現在、エスコープ大阪の各地域委員会では計6ヵ所で「子育てひろば」を行なっています。その他にもサークル活動として大阪市内では「にじいろサークル」が子育てひろばを開催しています。

「子育てひろば」では講習を修了した子育てサポーターがお子さんの見守りをしているので、お母さん同士で子育ての情報を交換したり、おいしい消費材のコーヒーやお菓子を食べながら、お母さんたちがほっこりできる場となっています。また、エスコープ大阪の消費材や運動などをちょっと勉強できる場にもなっています。

最近では行政も子育て支援に力を入れていますが、私たちは地域がひとつのおおきな家族となり、「お互いさま」の気持ちで、地域の中で安心して子育てができることを目指し、これからもエスコープ大阪らしい子育て支援、親支援をしていきたいと思っています。「子育てひろば」の内容もさらに充実させていきます。どしどし親子で遊びに来て下さい。

※各地域の子育てひろばの開催日は毎月「りっぷる」4面でお知らせしています。



第7回 理事会報告 <12月16日>

【11月度決算報告】

- 供給高 2億229万円(前年同月比91.49%)
- 組合員数 18,594名(前月比98)
- 一人あたりの出資金 80,218円

【11月の放射能検査結果】

11月は連合消費材697検体、エスコープ大阪の独自消費材4検体放射能検査を実施しました。生活クラブの自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①育児・介護休業等に関する規則について変更する旨の提案があり、決議しました。
- ②2016年コープ共済連臨時総会の代議員選出について提案があり、決議しました。

【協議事項】

- ①2017年度エスコープ大阪方針の骨子の提案について提案があり、協議しました。
- ②総代会(改選期)に向けたスケジュールについて提案があり、協議し、確認しました。
- ③関西の青果政策について提案があり、協議し、確認しました。
- ④「生活クラブ福祉事業基金」方針(案)への単協意見集約について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑤新規加入者フォロー取り組み「新規加入者集会」のプレ実施について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑥組合員活動の予算外執行等について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑦美浜原発再稼働に反対する意見書の提出について提案があり、協議し、確認しました。

【報告承認】

- ①「託送料金への廃炉および賠償費用の上乗せ」および「原子力賠償法の無限責任を求める」意見表明と国会議員へのアンケート実施について提案があり、確認しました。
- ②大阪市南・中河内地域準備会および消費委員会の予算オーバーについて追加経費支出の提案があり、確認しました。

編集後記

めずらしく今回の冬、体調を崩して寝込むことになりました。その際、本当にありがたかったのが「アップルメイト」です。風邪気味で胃腸が弱っていた身体にはりんごのみずみずしさ優しい甘さがしみ込むようでした。これからも健康のため1日1個りんごを食べていこうと思っています。「アップルメイト」の箱に入っている生産者のお手紙からもりんご生産の大変さが伝わってきて、ありがたみも増し、来年も食べていこうと思いました。(H)

発行:生活協同組合エスコープ大阪
制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL. 072-293-4660
FAX. 072-341-0022
http://s-osaka.seikatsuclub.coop/

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

168号表紙 「そばの実“地産100%”の『戸隠そば』をめざして」を読んで

紙面モニター Aさん

おびなたさんは今でも原料のそばの実国産100%でそばを作っておられ、それだけでもたいへんなことだと思うのに、さらに大きな夢、そばの実“地産100%”をめざしているなんて、すばらしい生産者さんですね。ずっと応援していきたいと思いました。

168号4面 私たちのエネルギーを考える!「2013年からすすめられている『放射線出前授業』の中身が明らかに」を読んで

紙面モニター Bさん

堺市内の小学校でおこなわれていた「放射線出前授業」は、子どもが科学的根拠に基づいて自ら考え、判断し行動できる力を育てるという目的から大きく離れ、単なる放射能アレルギーをなくす目的だったのですね。これからもこのようなことに目を光らせて、正しい情報を私たちに与えてください。



エコクラブ制度 12月度報告

加入者数 1101名

組合員活動を支えるためのケア	1件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	2件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
2月9日(木) 10:00 ~ 12:00	ソフィア堺 (堺市街地地域)
2月1日(水) 10:00 ~ 12:00	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
2月21日(火) 10:00 ~ 12:00	さつき野東集会所 (南河内地域)
2月1日(水) 10:00 ~ 12:00	岬町望海坂第1集会所 (泉州地域)
2月7日(火) 10:00 ~ 12:00	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)
2月7日(火) 10:00 ~ 12:00	ほーぷサロン (泉北NT地域)

*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

Ripple おたよりネット

理事会事務局行き
169号(2017.1.30)

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

(ペンネームOK)

●お名前

●地域名

●班名

●組合員コード